

開催日時：平成28年12月22日（木）15時半～16時半

開催場所：介護老人保健施設ステップハウス宝塚 会議室

出席者：宝塚市医師会様、小浜自治会長様、民生児童委員様、宝塚市介護保険課様、
地域包括支援センター様、ご家族様
(事業所出席者) 課長、管理者、計画作成責任者

欠席者：なし

議題内容

1、事業内容

- ・定期巡回開始から1年3ヵ月が経過。当初2～3名からスタートし、現在18名。
11月の終了者のうち1名は体調回復し、入院前のような暮らしを夫婦でできるようになっている。開始当初は、介護度4・5の重度の方が多かったが、今年半ば頃から要介護1～3の軽度・中度の方の利用が増え、現在は半分の割合である。要介護1～3の方のご利用目的としては、認知症に伴う安否確認・内服・食事確認・環境調整等が多い。
高齢者ご夫婦、独居が多い。訪問内容は安否確認、排泄、配膳、内服介助等を行っている。
連携には至らずのケースもあり、新規も増加傾向にあるが11月は終了も3件で、体調改善により定期巡回でのケアの必要性がなくなったケース、経済的な理由で終了するケース等みられている。
- ・人員不足による受け入れが、限界に近い状況である。
依頼を受けても、人員不足により受入れられなくなっている。また、必要なサービス時間帯が重複する事が多く、時間帯での人員不足もある。
依頼をお断りしても、同じサービスを提供している所が無く（左岸）、紹介すらできない。市は、新たな定期巡回・随時対応型訪問介護看護の募集を検討されていないと聞いているが、ニーズはありこれから普及していきたいサービスのため、当事業所だけでなく、市も検討してほしい。
受入ができなかった件数を、市へ報告していく。
- ・随時訪問（ヘルパー）の内容…熱発、排泄、家族からの連絡による安否確認の訪問。
緊急訪問看護での訪問内容…発熱・排便処置・体調不良・点滴、ターミナルケアなどの訪問。
- ・住居区域について エリアはすみれが丘、川面へ拡大している。
安倉での利用が増加している。訪問回数も多い為、ヘルパーの訪問スケジュール調整が大変になってきている。

2、 自己評価の報告

- I－5 介護と看護での検討会を3ヶ月に1度、定期に実施している。事業所内での話し合いを元にケアマネジャーに繋げていかなければならない。次回は1/26。

情報共有の問題…介護、看護でソーシャルネットワークを利用する。

『メディカルケアステーション』の、活用を常勤職員のみで行う。

(医師より)

医師会でも、このアプリケーションの話は出ている。『LINE』よりは、安全性は高いものである。このようなコミュニケーションツールを使用するにあたって、問題は個人情報←家族、本人の許可が必要。個人情報の共有にあたり他にも問題がある。住所、電話番号を使用するのは大きな壁であり、システムの安全性が問われる。

(管理者より)

当事業所では、利用者様の情報共有は、朝礼などフェイス・トゥ・フェイスが基本である。土日祝等、訪問看護と連絡が取急ぎ必要な場合等の活用に使っている。

- I－6 ケア時間が集中している。その場合の人材確保が難しい。ケアの受け入れが難しいところをどうするのが課題。市より、H29年中に新規指定の予定はないと聞いている。

- II－22 訪問件数が増加する事により、報告・検討事項が多くなり、ケア内容や報告の抜け落ちが心配される。

- III－31 事業のPRではないが、地域との交流として防災訓練に参加した。

3、外部評価・質疑応答

(自治会長・児童民生委員様からご家族様へ) 利用してみようか。

(家族) 義母 要介護5、昼間独居のため日中メインで利用。訪問看護は利用しておらず、月1回看護師のモニタリングを受けている。褥瘡なし。他に、週1回のデイサービス、月1回ショートステイ、昼・夕の配食を利用。デイを増やしたいが、限度額もあり増やせず。保清は、デイの他に週2回ヘルパーによる清拭を行っている。複数のヘルパーが複数回来てくれるので、本人にとっても良い刺激となっている。本人も家族も安心して過ごしている。

(管理者より紹介) 要介護2 パーキンソン病の利用者。熱中症による運動機能低下あり、歩行困難・転倒を繰返し、内服も飲んでいなかった。7月～安否確認、内服・排泄介助・環境整備メインで開始。開始当初の筆跡は、文字の大きさのばらつきや震えがみられたが、現在は文字の大きさは統一され震えも無く、罫線上に書けるまでに改善されている。利用者様もそれを感じている。また、他職種(医療保険で訪問看護、デイケアを利用)での情報共有を行っていることで、『すごく穏やかな気持ちで日々過ごさせて頂いて幸せです。』等のコメントを頂いており、利用者様から情報の共有の大切さを改めて、教えていただいている。

（自治会長様より）安心は心の満足である。そう言ってもらえる事は良い事だと思う。安心に繋がる連携は必要。地域でも、その安心に繋がる情報等をキャッチした場合、その情報を何処に集めるのかも課題である。それに、行政がどのように絡んでくれるのか。自治会で情報内容を作成したとしても、その保管などの問題もある。

次回開催予定日

平成29年 3月 23日（木） 15時半～16時半